

平成 25 年度 事業 報告 書

平成25年4月1日から平成26年3月31日までに行った事業の概要は次のとおりである。

1. 会員(平成26年3月31日現在)

会員種別	会員総数	前年度会員総数	入会者数	退会者数	前年度比
正会員 A	12	12	0	0	(0)
正会員 B	22	22	0	0	(0)
正会員 C	11	11	0	0	(0)
賛助会員 A	11	11	1	1	(0)
賛助会員 B (個人)	4	5	0	1	(-1)
賛助会員 B (団体)	37	39	0	2	(-2)
賛助会員 C	7	9	0	2	(-2)
合 計	104	109	1	6	(-5)

2. 運営に関する会議

(1) 総会・理事会

会 議 名	開催日時・場所	主な議決事項等	出席者
定時総会	平成25年6月25日(火) ニュートーキョー本店ビル (東京都中央区)	審議事項 1. 平成24年度事業報告及び収支決算承認 2. 役員(理事の交代)選任	出席者総数 45人 ・出席 : 27人 ・書面表決 : 3人 ・委任状提出:15人 (正会員数 45人)
臨時総会	平成26年3月14日(金) アルカディア市ヶ谷 (東京都千代田区)	審議事項 1. 平成26年度事業計画承認 2. 平成26年度収支予算等承認 3. 平成26年度委員会及び部会の構成承認	出席者総数 45人 ・出席 : 19人 ・書面表決 : 9人 ・委任状提出:17人 (正会員数 45人)
臨時理事会	平成25年6月6日(木) 書面表決	審議事項 1. 平成24年度事業報告承認 2. 平成24年度収支決算承認	同意者数 17人 (理事数 17人)
第1回定例理事会	平成25年6月25日(火) ニュートーキョー本店ビル (東京都中央区)	審議事項 1. 役員(理事の交代)選任候補 2. 平成25年度代表者連絡委員・部会委員構成	出席者数 14人 (理事数 17人)
第2回定例理事会	平成25年10月4日(金) (公財)国際湖沼環境委員会 (滋賀県草津市)	審議事項 1. 上期事業活動状況 2. 常務委員の交代	出席者数 13人 (理事数 17人)
第3回定例理事会	平成26年1月17日(金) アルカディア市ヶ谷 (東京都千代田区)	審議事項 1. 総会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定 2. 常務委員の選任	出席者数 14人 (理事数 17人)
第4回定例理事会	平成26年3月14日(金) アルカディア市ヶ谷 (東京都千代田区)	審議事項(臨時総会に付議する議案の先議) 1. 平成26年度事業計画承認 2. 平成26年度収支予算等承認 3. 平成26年度委員会及び部会の構成承認 審議事項(理事会議案の審議) 1. 総会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定 2. 役員(理事・監事)の選任方針について	出席者数 13人 (理事数 17人)

(2) 常務委員会

会議名	開催日時・場所	議題	出席者
第1回	平成25年4月10日(水) 協会会議室	協会運営に関する諸問題について	出席者総数 8人
第2回	平成25年5月22日(水) 協会会議室	協会運営に関する諸問題について	出席者総数 8人
第3回	平成25年9月20日(金) 協会会議室	協会運営に関する諸問題について	出席者総数 7人
第4回	平成25年12月19日(木) 協会会議室	協会運営に関する諸問題について	出席者総数 6人
第5回	平成26年2月7日(金) 協会会議室	協会運営に関する諸問題について	出席者総数 7人
第6回	平成26年3月6日(木) 協会会議室	協会運営に関する諸問題について	出席者総数 8人

3. 計測技術講習会の開催

(1) 排水管理における計測器の基礎知識と維持管理技術講習会

排水管理において最も重要、かつ基本的な pH 計、DO 計、濁度計・SS計について、その精度管理、維持管理に関する技術の向上を目的として、東京都、岡山県で開催した。環境省担当官による排水規制の動向についての講演、協会技術員による計測器の計測原理、精度管理、及び維持管理についての講義を実施した。124名が受講した。

◆後援；環境省

◆期日、会場；平成 25年 7月 3日(水) 岡山会場 第一セントラルビル
平成 25年 7月 5日(金) 東京会場 北とぴあ

(2) 水質計測機器維持管理講習会

水質総量規制関連計測機器の精度管理、維持管理に関する技術の普及、向上を目的として、東京都、神戸市、名古屋市で開催した。環境省担当官による水環境行政の動向についての講演を加えた講習プログラムに基づき、協会技術員による計測器の計測原理、精度管理、維持管理についての講義、並びに計測器の実機講習を実施した。64名が受講した。

◆後援、協賛；後援:環境省、(一社)産業環境管理協会 協賛:(株)環境新聞社

◆期日、会場；平成 25年 10月 16日(水)～ 17日(木) 神戸会場 神戸市産業振興センター
平成 25年 10月 21日(月)～ 22日(火) 名古屋会場 名古屋国際センター
平成 25年 10月 23日(水)～ 24日(木) 東京会場 北とぴあ

(3) 環境大気常時監視技術講習会

環境大気常時監視測定機の精度管理、維持管理に関する技術向上等を目的として東京都、神戸市で開催した。環境省担当官による環境大気環境行政の動向についての講演、及び環境大気常時監視実務推進マニュアル第3版に基づき、地方自治体研究員、協会技術員による講義を実施した。81名が受講した。

◆後援；環境省

◆期日、会場；平成 25年 11月 18日(月)～ 19日(火) 神戸会場 三宮研修センター
平成 25年 11月 21日(木)～ 22日(金) 東京会場 日本消防会館

4. 環境大気常時監視技術者試験の実施

本制度は、環境大気常時監視自動測定機の維持管理や精度管理、データ管理業務等における技術継承や技術力の維持向上を目的として平成 21 年度にスタートした。本年度は5年目にあたり、実施結果等は以下のとおり。

なお、本試験の問題、合格基準等は、「環境大気常時監視技術者試験委員会」において検討、決定された。

(1) 初級技術者試験

◆期日；平成 25年 7月 20日(土)

◆会場；東京セミナー学院、新梅田研修センター

◆申込者数、合格者数等；

	申込者数	欠席者数	受験者数	合格者数	合格率(%)
東京会場	63	4	59	23	39.0
大阪会場	37	2	35	16	45.7
計	100	6	94	39	41.5

(2) 専門技術者試験

◆期日；平成 25年 7月 20日(土)

◆会場；東京セミナー学院、新梅田研修センター

◆申込者数、合格者数等；

	申込者数	欠席者数	受験者数	内 初級合格者数	合格者数	合格率(%)	実質合格*率(%)
東京会場	59 (内初級合格者54)	1	58	56	17	29.3	30.4
大阪会場	44 (内初級合格者41)	2	42	41	10	23.8	24.4
計	103	3	100	97	27	27.0	27.8

*実質合格率；初級技術者試験の合格者のみが専門技術者試験を受験したと仮定した時の合格率。

(3) 主任技術者試験

◆期日、会場

大阪：平成 25年 11月 7日(木)、8日(金) 大阪YMCA 会館

東京：平成 25年 11月 12日(火)、13日(水) 機械振興会館

◆申込者数、合格者数等；

	受験者数	合格者数	合格率(%)
東京会場	8	8	100.0
大阪会場	7	7	100.0
計	15	15	100.0

5. 技術交流会の開催

(1) 第1回技術交流会

PM2.5、SPM、黄砂等も含めた「粒子状物質測定データの精度向上について」をテーマに、関係の専門家より講演をいただき、ディスカッションを実施した。正会員、賛助会員等65名が参加した。

◆期日；平成 25年 6月 28日(金)

◆会場；ルーテル市ヶ谷センター

(2) 第2回技術交流会

平成21年度より開始された環境省「日本モデル環境対策技術等の国際展開」事業の講演及びベトナムにおける水ビジネス展開について講演をいただき、JETA海外部会が実施したベトナム環境視察の報告を行った。正会員、賛助会員等43名が参加した。

◆期日；平成 25年 12月 3日(火)

◆会場；ルーテル市ヶ谷センター

6. オゾン濃度値付け業務の実施

当協会が所有する標準器(国立環境研究所の1次標準器により値付け)により、民間の基準器(3次に相当)を値付けする業務を実施した。

◆発注元、台数；

レンタル事業者：1台、計測器メーカー：2台、調査・分析事業者：9台

7. 受諾・請負調査等の実施

環境省より、下記2件の業務を受諾、実施した。

(1) 環境技術実証事業 VOC 等簡易測定技術分野実証機関業務

平成25年度実証機関に選定され、関連メーカーによる技術検討会合、有識者で構成の実証検討会を開催するとともに、実証試験対象技術の募集と選定(2社3技術)、並びに実証試験の実施、実証試験結果報告書の作成等を行った。

(2) 環境大気自動測定機のテレメータ取り合いの共通仕様に係る検討業務

有識者及び協力者で構成する、検討会及び作業部会を設置・運営し、テレメータシステム全体の具体的構想、システム検証試験内容の検討と実施、テレメータ取り合いの共通仕様(案)及び説明資料の作成、デジタル化促進のための施策、環境大気常時監視マニュアルの原稿作成方針の検討を行い、自治体向け説明会を2ヶ所で開催した。「環境大気自動測定機のテレメータ取り合いの共通仕様」等を作成し、報告書を提出した。

8. 海外協力

(1) ベトナム環境視察団の派遣

海外部会の活動として、ベトナムにおける環境問題の現状やニーズ及び環境測定設備の整備状況等の調査を目的として環境視察団を派遣し、JICAベトナム事務所の訪問、ビンフン下水処理施設や工業団地排水処理施設の視察、Vietwater2013の見学等を行った

◆期日;平成25年10月14日(月)～17日(木)

◆参加者;海外部会委員、常務委員及び事務局員等 6名

(2) 講習会等への講師派遣(国内実施を含む)

講師派遣	平成25年度 JICA 集団研修「大気環境管理に向けたキャパシティビルディング」コース
------	---

9. 中国環境情報の発信

中国北京連絡事務所の収集、取纏めによる中国国务院、環境保護部の環境政策の動向、環境保護部、地方政府等の環境情報を毎月1回発信するとともに、当協会ホームページで公開した。また、重要テーマについて随時発信を行った。

10. 委員の派遣

環境省ほか、諸団体からの要請を受け、9検討会等へ委員を派遣した。

11. 後援・協賛

諸団体からの依頼を受け、下記行事の後援、協賛を行った。

後 援	(公財) 神奈川科学技術アカデミー KAST 教育講座「化学物質の有害評価コース」
	(一財) 関西環境管理技術センター ベトナム・ミャンマーにおける日本の排水処理技術普及のためのセミナー
	(公財) 神奈川科学技術アカデミー KAST 教育講座「実践編・RoHS/REACH に対応する自律的マネジメントシステムの構築」
協 賛	(一社) 日本分析機器工業会、(一社) 日本科学機器協会 「JASIS2013」

12. 図書の発行

協会誌、及び水質計測機器・環境大気自動測定機に関する技術マニュアル等を発行した。

協会誌	かんぎきょう112号(平成25年7月)
	かんぎきょう113号(平成26年1月)
技術マニュアル	水質総量規制制度におけるCOD換算式修正マニュアル(改正版)(平成24年9月)
	水質計測機器維持管理技術マニュアル(平成24年10月)
	環境大気常時監視実務推進マニュアル 第3版 3刷(平成25年6月)

13. 展示会 JASIS2013 出展

協会の知名度・認知度の向上、会員の増員等を目的として出展した。学協会コーナーに1小間出展し、協会事業等の紹介、出版物展示、パンフレットの配布を実施した。協会ブースへは、79名が来場した。

◆会期 ; 平成 25年 9月 4日(水)～ 6日(金)

◆会場 ; 幕張メッセ国際展示場

14. 施設見学会

平成25年10月4日(金)琵琶湖博物館の見学会後、公益財団法人国際湖沼環境委員会(ILEC)を訪問し、活動内容についての講演を聞くことができた。ILECは、世界の湖沼環境の健全な管理と、これと調和した持続的開発のあり方を求めて国際的な知識交流と調査研究推進を図る機関である。ILECは、統合的湖沼流域管理、世界湖沼会議の開催など国際協力、研修・教育による人材育成受け入れ等の活動を通じて、水を守り、湖を救う貢献をしている。会員22名が参加した。

15. 委員会・部会・研究会の開催(活動)

委員会・部会名	開催日	議 題
【運営委員会】		
・事業部会	第1回	部会活動、実施事業計画
水質講習会分科会	第1回	水質計測機器講習会実施計画
(水質部会、維持管理部会協働開催)	第2回	〃
	第3回	平成26年度実施事業計画
・海外部会	第1回	部会活動計画
	第2回	ベトナム環境視察団派遣計画
	第3回	平成26年度の部会活動方針・計画
海外部会幹事会	第1回	東南アジアにおける活動計画
・広報部会	第1回	部会活動計画
	第2回	協会誌、ホームページ計画
	第3回	JASIS2012 出展報告
	第4回	協会誌、ホームページ改定
広報部会幹事会	第1回	〃
【技術委員会】		
・水質部会	第1回	部会活動、実施事業計画
水質講習会分科会	第2回	水質計測機器講習会実施計画
(事業部会欄に記載)		
・大気部会	第1回	部会活動、実施事業計画
・酸性雨部会	第1回	部会活動計画
	第2回	越境大気汚染関連情報について 酸性雨、越境汚染関連の情報収集 大気環境学会酸性雨分科会傍聴
・維持管理部会	第1回	部会活動計画
水質講習会分科会	第2回	計測異常時対処法、講習会計画
(事業部会欄に記載)		
・放射性物質に関する研究会	第1回	研究会活動のテーマの検討 放射性物質の常時監視に関する検討会傍聴
		〃
	第2回	検討会報告書素案について協議し、 パブリックコメントを提出 放射性物質の常時監視に関する検討会傍聴
		〃
【環境大気常時監視技術者試験委員会】	第1回	試験問題、採点基準 他
	第2回	〃
	第3回	〃